
【ケアプロ通信 vol.42】5 月度:全国各地でセルフ健康チェックイベントを開催！

平素より、お世話になっております。

最近春に運動会を行う学校も多いようで
月曜日には夏を思わせる気候の中、元気に走りまわる子供たちの姿が見られました。

ケアプロ本社は JR 中野駅から徒歩 15 分ほどの場所にあります。
今朝、通勤途中にみた光景です。
重たそうな新聞紙の束を出そうとしていたご老人がいました。
通りがかりの20歳前後の男性が、その新聞紙の束を収集場所まで運んであげていました。
ご老人は深々と頭を下げている、恥ずかしそうに笑っていた若者の笑顔が印象的でした。

そんな若者にも、ご年配の方にも、ケアプロでは、
通勤・通学・買い物の途中に「ちょっと立ち寄り、ちゃんと健康」を実現することで、
生活習慣病の予防と医療費削減に貢献してまいります。

それでは、5 月度のニュースをお届けいたします。



▼代表 川添高志からのメッセージ

こんにちは、川添です。

5月も、盛り沢山でした。

しかし、早寝早起き、健康的な食事、適度な運動をして、過ごせたと思います！

さて、5月は、在宅医療事業部が、

「ケアプロ在宅支援センター(居宅支援事業)」を開始しました。

私も、地域の病院などにケアマネの海老根と挨拶回りをしました。

そこで、東京の医療圏は、非常に複雑であることを身をもって感じました。

地方であれば、一つの医療圏で、需要≒供給ですが、

東京の病院には、様々な医療圏から来ますし、

東京の患者さんは、様々な医療圏に行きます。

中野区の病院に挨拶にいくと、

中野区の患者さんがわずかのところがある一方で、

中野区外の病院に挨拶にいくと、

鉄道のアクセスが良いため中野区民の患者さんが多いところもあります。

病院の地域連携担当の方々は、

患者さんのために、様々な地域の医療資源を把握し、

実際に地域連携をされていてすごいな、と思う一方で、

患者さんに最適な医療連携をすることが属人的な傾向がありました。

「地域医療介護連携ドットコム」のようなシステムが

普及することが課題ではないかと思いました。

まずは、アナログで地域の方々との連携を推進しながら、

引き続き、模索していきたいと思います。

▼予防医療事業部より5月度進捗のお知らせ

■5月は大型イベントを次々実施いたしました！

・公益社団法人日本糖尿病協会様の
『ヘモグロビンエイワンシー(HbA1c)認知向上運動』に
行って参りました。

毎年の実施となりますが、今回は京都で
300名の方に HbA1c と血糖値を測定頂き、
糖尿病予防に貢献することが出来ました。

※『ヘモグロビンエイワンシー(HbA1c)認知向上運動』
についてはこちら

<http://www2.convention.co.jp/jds59/event/>

・健康保険組合連合会大阪連合会様の
「あなたの健康、だいじょうぶ？ 健康みらいトーク in 大阪」にも
行って参りました。

講演の前後に血管年齢と骨チェックを測定頂きました。
皆保険制度の維持に向けて、健康チェックの重要性を
確認頂くことができたと思います。

※「あなたの健康、だいじょうぶ？ 健康みらいトーク in 大阪」
についてはこちら

<http://bit.ly/1TPzBSO>



▼在宅医療事業部より5月度進捗のお知らせ

こんにちは、在宅医療事業部 事業部長の前田です。

先日は都庁にて介護保険の集団指導講習を受講してきました。
数百名のステーション管理者様と共に、
基本から、近年起きがちな制度の誤解などを1日掛けて学びます。
幸いケアプロに認識のズレはほぼなく、ホッと一安心。

医療保険は28年度改定が行われ、まだ完全には浸透していない時期です。
間違いに気づかずそのままにしていると、後から対応に追われたり、運営に支障をきたしてしまうこともあると聞きます。
利用者様にご迷惑を掛けないように、法律の動きには引き続きしっかり注意が必要と実感した1日でした。

▼国際医療事業部より5月度進捗のお知らせ

◆インド事業再稼働秒読みか!?!◆

川添がインドを初めて訪れてから早いもので3年が経ちますが、
お陰様で各方面からご紹介やご声援をいただいております。

先日もあるご縁からケアプロの可能性をさらに引き出す余地を垣間見ました。

やるもやらぬも我々次第。国内事業との相乗効果のためにも、
国際医療事業部としての取り組みを通じてケアプロのことを
継続発信していければと考えております。

ケアプロ×海外×予防医療 & 在宅医療でピンと来られた方は、
是非どなたでも構いませんのでご紹介いただけましたら幸甚です！